



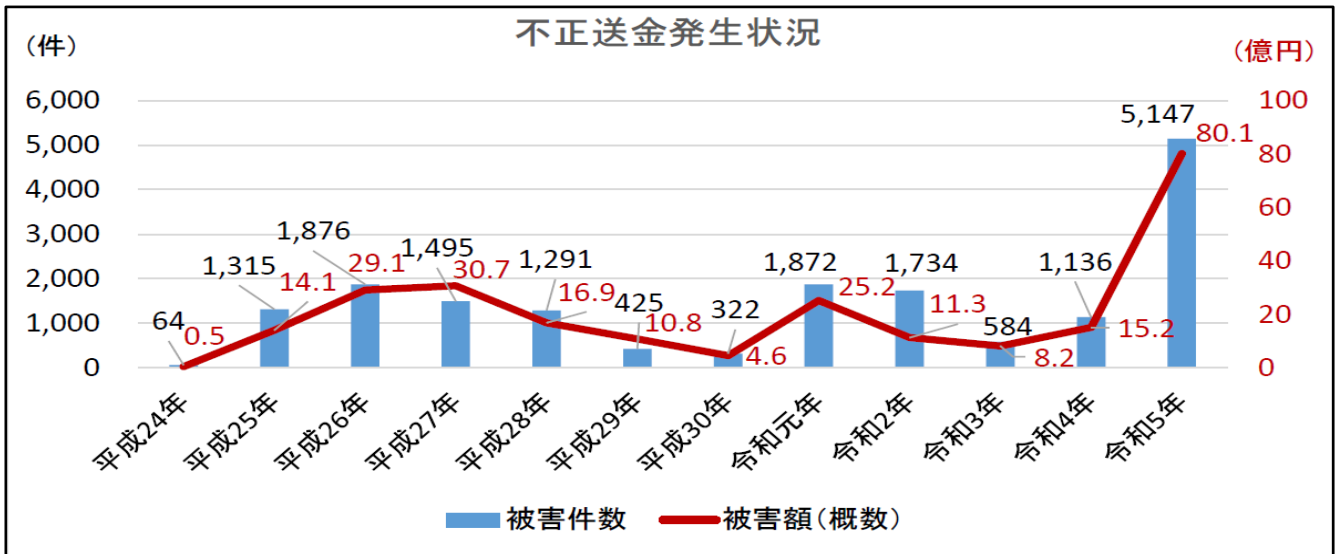
# サイバーセキュリティの置き薬

2023年  
第20号

## 不正送金被害が過去最多！

インターネットバンキングの利用者の口座から預金が不正に送金される被害が多発しています。

被害金融機関と連携し対策を講じているものの、被害は拡大し続けており、令和5年11月末における全国での被害件数は5,147件、被害額も約80億円と過去最多となっています。



### Check!

資料：警察庁ホームページ掲載「フィッシングによるものとみられるインターネットバンキングに係る不正送金被害の急増について（注意喚起）」

#### ◎ 犯行手口の大半は、「フィッシング」によるもの

具体的には、金融機関（銀行）を装ってメールやSMS（ショートメッセージ）を送り、フィッシングサイト（偽のログインサイト）へと誘導し、インターネットバンキングのIDやパスワード、ワンタイムパスワード等の情報を盗み取り、預金から不正送金を行うといったものです。

#### ◎ リンクからのアクセス、情報の入力に注意

**「不正アクセス」や「個人情報の確認」、「取引の停止」など不安をあおるワードを見つけたらフィッシングを疑い、リンクからアクセスしたサイトにIDやパスワード等を入力しないよう注意しましょう。**

公式サイトをブラウザの「ブックマーク」や「お気に入り」に登録しておくことをお勧めします。



インターネットバンキングで身に覚えのないログインや入出金を確認した場合は、速やかに金融機関や最寄りの警察署へ相談してください。



#### 【参考】警察庁

フィッシングによるものとみられるインターネットバンキングに係る不正送金被害の急増について（注意喚起）  
[https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/20231225\\_press.pdf](https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/20231225_press.pdf)

YouTube 富山県警察公式チャンネル  
注意喚起動画「フィッシング」

※通信費は、ご利用者の負担となります